

くらしの目線で市政を変える

市長総括質疑に立ちました

違法民泊の根絶と

「宿泊施設拡充・

誘致方針」の撤回を

市内に急増している違法民泊による市民への被害が広がっています。国は新法（住宅宿泊事業法）で規制緩和をする計画です。今は違法になる住居専用地域や市街化調整区域にも届出をするだけで合法になるという内容で、更に被害が広がる懸念があり、規制強化こそ必要です。規制強化で違法民泊の根絶をと求めました。

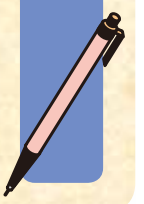


部落差別の固定化に

つながる実態調査は

すべきでない

昨年12月の臨時国会で成立した「部落差別の解消の推進に関する法律」は「地方公共団体の協力を得て、部落差別の実態に係る調査を行うものとする」としています。京都市では、市民運動や行政の努力と議会の議論の結果、「同和行政終結後の総点検委員会」の報告が出されています。その立場で実態調査はすべきでないと求めました。



岡田山の

撤去を

急ぐべき



大岩街道周辺の岡田山の撤去計画は、20年間の予定です。通行するトラックの台数は、協定の台数より少ない状況があるので、撤去計画の前倒しの努力を求めました。

くらしの目線
全庁的な
大火災対策を
求める



昨年12月22日に発生した新潟県糸魚川市の大火災の現地を調査しました。木造密集市街地の多い京都市にとって、他人事ではありません。調査結果をもとに、防災危機管理室を中心にした全庁体制で火災に対する強化をと求めました。

くらしの目線
市庁舎整備等
の大型工事の
見直しを



市庁舎整備に現在のところ350億円、中央卸売市場第一市場の整備に600億円、美術館整備に101億円、市立芸術大学移転整備に250億円などの大型建設工事が目白押しです。必要な整備ではありませんが、身の丈にあつたものに見直すことが必要です。

くらしの目線
東部クリーン
センターの
跡地活用を



京都市は市有地の活用方針の中に、東部クリーンセンターの跡地活用も含まれています。地下の土壌汚染の心配もあり、まだ、具体化はされていません。しかし、民間への売却ではなく、地域住民のための跡地活用をすすめるべきです。



こんにちは

日本共産党 京都市会議員

2月市会報告

西野さち子

西野さち子



http://www.nishino-sathiko.jp/ shikai@nishino-sathiko.jp

どんなお困りごとでもお寄せください 伏見生活相談所 TEL.621-6717